



お知らせ

防災無線はメールや電話でも確認できます

問 伊奈庁舎防災課 (内線2502)

情報発信の多重化で

「わからない、聞こえない」を解消

市では現在、防災行政無線のデジタル化改修を進めています。屋外スピーカーの交換や移設を行い、同時に聞こえにくい地域での試験放送などを通して音量の調整を行っています。しかし、一定以上離れると建物の中までスピーカーの音を届かせることができません。

屋内の方にも防災行政無線の情報を

伝えるため、市では、携帯電話へのメー

ル配信サービスや、防災行政無線の聞

き直しができるテレフォンサービスを行

っています。今後はスマートフォン

用防災アプリや、自宅の電話に配信す

るサービス、聴覚に障がいがある方向

けのFAX配信などを開始します。

詳細は、市ホームページ、または広

報つくばみらい5月号に掲載するほ

か、防災行政線に関するパンフレット

を作成し、全戸配布します。



お知らせ

小絹小で防災講座を実施しました

問 伊奈庁舎防災課 (内線2502)

小絹小学校で2月12日、6年生を対象に防災講座を行いました。当日は約80人の児童が参加し、高砂熱学工業(株)や消防署の方を講師に迎えて、災害に関するさまざまな体験をしました。

災害の種類や備蓄、空調換気ブースについての講話を聴いた後は、段ボールパターションや避難用テントの組み立てを実際に体験し、避難所設営の仕方を学びました。



班ごとに分かれて避難用テントの組み立てに挑戦



お知らせ

災害に強いまちづくりを進めています

問 伊奈庁舎防災課 (内線2502)

東日本大震災から今年で10年です。

市ではこの間、多分野にわたる企業や

団体と連携協定を結び、災害時におけ

る協力関係の構築を進めてきました。

また、国土強靱化計画を策定し、大

規模自然災害から被害を最小限に抑

え、早期に復旧・復興できる、強くし

なやかな地域づくりを推進します。

また、水害においては、市民一人ひ

とりが災害時にとるべき行動を自分で

記す「マイ・タイムライン」の普及に

もさらに力を入れてまいります。

今後も、市民の皆さんと一緒になっ

て、災害に強いまちづくりを推進して

いきます。



市庁舎も強い揺れにより大きな被害を受けた



地震により道路は断裂し通行が困難になった



マイ・タイムライン作成講座に参加する市民の皆さん